



研究テーマ

金沢美術工芸大学大学院ファッションデザインコース2014修了制作作品展in FORUS
金沢の商業施設におけるファッション修了制作作品の展示販売

目的・概要

ファッションデザインコース大学院2年生が修了制作で提案したブランドを金沢駅前ファッションビル「FORUS」(会場:2Fエスカレーター横特設会場)に於いて2月20日から2月25日の6日間 展示を行った。消費者の生の声を聞き社会とのかかわりの中で自身のデザインがどのように位置づけられるのかを探ることを目的としている。今回はFORUS2階のレディースファッションフロアのだ真ん中で展示することができ、学生自身がファッションに興味のある消費者の反応を見ることができた。本学の大学院ファッションデザインコースが目指すファッションビジネスの実践的な教育の集大成として大変貴重な機会となった。また、企業の商品とは違う若い感性によるモノづくりをより多くの人々に知っていただく意味でも大変有意義なイベントであった。

期間

2012年2月20日～2月26日
金沢フォーラス2F 上りエスカレーター横特設会場

担当教員

金沢美術工芸大学環境デザイン専攻 教授 角谷 修 准教授 北村 賢哉
金沢美術工芸大学大学院ファッションデザインコース 講師 大野 悠

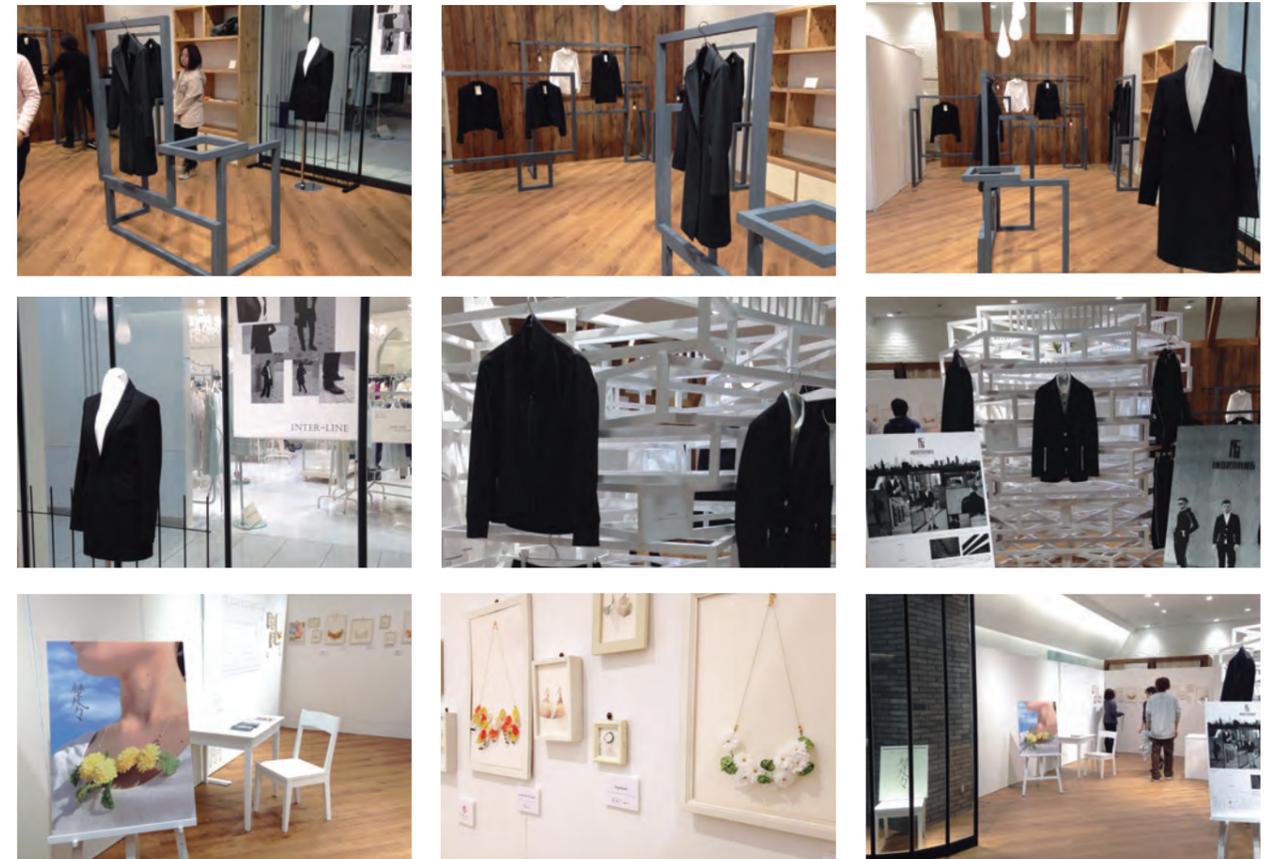
参加学生

ブランドデザイン:金沢美術工芸大学大学院ファッションデザインコース
大戸千尋「楚々」 森岡まりの「INTER-LINE」 山下健人「INORTHING」

店舗デザイン共同制作:金沢美術工芸大学環境デザイン学生
大戸チーム:2年/上荒磯 翔太 三條場 未紗 田中 理実 林 耀俊 向川 八絵 渡邊 里菜 履修生/関 博友
森岡チーム:2年/石田 みなみ 沖野 有花 木村 賢匠 田井 陽子 西出 光豊 辨野 翔太郎 吉岡 茉莉
山下チーム:2年/奥田 亜美 介田 彩香 國村 光 白木 裕也 田中 明香音 成子 夏芽 林 優美 吉峰 拓

Process

- 2013.12月16日 FORUSに向けてイベントの提案と依頼。担当者との第一回打合せ
- 2014.1月24日 FORUS担当者と展示会場に関する打合せ。いくつかの候補を出してもらう。
- 2月頭 展示会場は2Fエスカレーター横特設会場に決定。21世紀美術館での展示を確認しながら展示方法を調整。
- 2月中旬 FORUSのホームページ・1階モニターにてイベントの宣伝開始。ポスターの掲示。
- 2月11日 21世紀美術館にてナカダと展示・搬入出の打合せ。
- 2月14日 FORUS会場にてナカダとの現場打合せ。
- 2月19日 21時～作品搬入・設営。
- 2月20日 展示開始
- 2月25日 21時～作品搬出・撤収。



展示・接客風景

Process

- 2012年12月 現地調査
- ↓
- 2013年3月 輪島市内関連調査および
周辺地域への取材、意見交換
- ↓
- 4月 第1回企画案プレゼンテーション
- ↓
- 6月 学内デザイン案検討
(外部専門家同席)
- ↓
- 8月 デザイン案の絞り込みと
施工の検討
- ↓
- 10月 施行最終確認
- ↓
- 11月 オープニング
あぜのきらめき設置ボランティア



現地調査



デザイン案検討



デザイン案検討



オープニング



施設内



研究テーマ

千枚田ポケットパーク整備計画

目的・概要

世界農業遺産に登録された輪島市の千枚田は、このエリアの重要な資源であり、後世に引継ぐ使命と共に観光の拠点として整備の必要性が求められていた。今回は、ポケットパークと道の駅の建物及び駐車場を含めた周辺環境の整備に携わる機会を得た。「みらいへの継承プロジェクト」を柱に、そこに集う地域の人々に焦点を当てて季節毎のイベント(棚田作り、あぜのきらめき等)に対応するための多様な要望に対応できるように企画・デザインを展開した。

委託者

スタンドアドサービス株式会社

期間

2012年12月～2013年11月

担当教員

デザイン科環境デザイン専攻 角谷 修 教授
北村 賢哉 准教授

参加学生

デザイン科 環境デザイン専攻3年 上田 佐紀 碓氷 修也 小森 翔伍
萩原 千恵 堀場 絵史



研究テーマ

授産商品の商品力アップ支援事業

目的・概要

石川県が推進する大学等との連携による授産商品開発支援授業として、社会福祉法人むつみ会若草作業所から、製造販売しているテキスタイル関連商品の商品力アップの為に支援を依頼された。

- 現行商品：ペンケース、カバン、コースター、ランチョンマット、ショール。
こういったテキスタイル関連商品の見直し、商品力アップの取り組みを行った。
- 新ブランド名：「てととと」。
- 新開発商品アイテム：てぬぐい、ペンケース、吾妻袋、加賀はんかち。

現行商品の技法、素材、デザインを見直し、新しいアイテムも加え商品開発を行い、ブランドを設立し販促ツールなどの制作も行った。参加した学生達は、今回のプロジェクトを通じ、社会におけるデザインやブランディングの重要性を学ぶことができた。

委託者

社会福祉法人 むつみ会 若草作業所

期間

平成25年11月1日～平成26年3月31日

担当教員

工芸科 大高 亨 准教授

参加学生

工芸科 染織コース3年 井上 藍 改田 早紀 木村 江美香 深谷 梨香子

Process

- 2012.11月5日 若草作業所訪問視察
- 11月14日 学内ミーティング、スケジュール確認
- 12月24日 参加学生確認
- 2013.1月22日 参加学生と現状把握のため、若草作業所視察
現状の使用素材、デザイン、技法などを確認し、新しいブランディング、コンセプトづくりから始めることを確認。
- 3月1日 学内ミーティング
ブランディングの方向性の確認。ブランド名案の絞り込み。
- 4月10日 学内ミーティング
香林坊大和での手仕事展の販促ツール開発確認。
- 4月23日 香林坊大和での催事販促ツールを納品
- 5月21日 若草作業所でのミーティング
- 6月3日 材料確認、手配
- 7月3日 学内にて開発ミーティング
- 7月9日 若草福祉作業所にて開発ミーティング
ブランド名、開発アイテムを決定し、試作開始。その後、学内での開発品チェックは継続して行った。
- 11月8日 中間発表(クライアント、若草作業所さんにプレゼン)
ブランド名決定、アイテムデザイン決定、新商品開発へ。
- 11月28日 開発品制作チェック
- 11月29日 開発品制作を若草作業所さんへトス
- 12月20日 学内開発ミーティング
- 2014.2月26日 最終報告会事前ミーティング
(若草作業所さんにて説明)
- 2月27日 若草さんへの最終報告会
ブランドの説明、開発品、販促ツールの説明。
- 3月26日 プレスリリースミーティング
- 3月27日 DM、チラシ、ポスター掲載の為に
開発商品撮影
- 4月18日 記者発表



作業所視察



制作・ミーティング



記者発表



タグ



DM



研究テーマ

ベーカリーワゴン“汽車のパン屋さん ぽっぽ”

目的・概要

2013年5月、金沢市教育プラザ富樫よりベーカリーワゴンデザインの依頼を受け、「オンリーワンで夢のあるワゴン」をテーマにプラザ関係者と学生3名教員1名でワゴンのデザインに取り組んだ。同プラザでは、一昨年度から来館者の利便を図るとともに、障害者の就労機会の拡大を目的として、施設が製造しているパンを館内で昼食時に販売していた。デザインを進めるにあたり、販売員やプラザ関係者からヒヤリングを行い、その結果、汽車をモチーフにしたベーカリーワゴン“汽車のパン屋さんぽっぽ”を完成させることができた。先頭車両はレジ代になっており、荷物の置き場や精算のしやすさも考慮されている。また、煙突の中には販売開始に使用するベルが収納されている。本体車両には、パンのトレーが3つ設置でき裏側には予備のトレーを入れる収納を設けた。ワゴンの下部に取り付けられたキャスターは、旋回性が良く狭い場所でも高い機動力を発揮する。隙間などはカバーをして子供達への安全面も考慮されている。車両全周に学生達によって取り付けられた枕木は、同年9月に開催された枕木ワークショップで約30組の親子に塗装を協力してもらった。また、ワゴンの製作は地元企業のシシクアドクライス株式会社に協力していただいた。試作確認を経て同年11月8日にお披露目会が行われた。ワークショップに参加してくれた親子も参加し、皆さんに大変喜んでいただくことができ地域に貢献することができた。

委託者

金沢市教育プラザ富樫

期間

2013年5月～11月

担当教員

デザイン科 製品デザイン専攻 根来 貴成 准教授

参加学生

デザイン科 製品デザイン専攻4年生 西岡 大貴
デザイン科 製品デザイン専攻2年生 佐藤 大輔 鈴木 僚

Process

- 2013年5月16日 現地調査(金沢市教育プラザ富樫)
- ↓
- 6月～7月 学内アイデア打ち合わせ(金沢美術工芸大学)
- ↓
- 7月9日 デザインプレゼン(金沢市教育プラザ富樫)
- ↓
- 7月30日 デザインプレゼン(金沢美術工芸大学)
- ↓
- 8月2日 試作打ち合わせ(シシクアドクライス株式会社)
- ↓
- 9月5日 枕木ワークショップ打ち合わせ(金沢市教育プラザ富樫)
- ↓
- 9月13日 枕木ワークショップ(金沢市教育プラザ富樫)
- ↓
- 9月24日 1次試作確認(金沢市教育プラザ富樫)
- ↓
- 10月4日 2次試作確認(シシクアドクライス株式会社)
- ↓
- 10月8日～10日 枕木、ネームプレート取り付け(金沢美術工芸大学)
- ↓
- 10月17日 納品(金沢市教育プラザ富樫)
- ↓
- 11月8日 完成出発式、パン販売実演(金沢市教育プラザ富樫)
- ↓
- 11月11日～24日 金沢美術工芸大学教員発表展(金沢21世紀美術館)



学内アイデア打ち合わせ



デザインプレゼンテーション



試作打ち合わせ



枕木ワークショップポスター



枕木ワークショップ



1次試作確認



2次試作確認



枕木取り付け作業



完成出発式



パン販売実演



研究テーマ

つくる図書館

目的・概要

金沢海みらい図書館から、図書館利用および読書週間の普及を目的として、来館者向けのワークショップと館内装飾を依頼された。海みらい図書館と学内で協議し3つのプロジェクトを進めることに決定した。

- ①館内装飾(美術科油画専攻)
- ②館内展示(デザイン科及び社会連携運営会議)
- ③ワークショップ(デザイン科視覚デザイン専攻、環境デザイン専攻)

委託者

金沢海みらい図書館

期間

2013年5月～2013年10月31日

担当教員

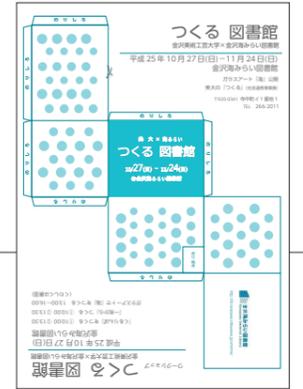
デザイン科 視覚デザイン専攻 後藤 徹 教授
デザイン科 視覚デザイン専攻 寺井 剛敏 教授
デザイン科 環境デザイン専攻 畝野 裕司 准教授
美術科 油画専攻 三浦 賢治 教授

参加学生

デザイン科 視覚デザイン専攻2年 松村 怜実 本江 兼捷
デザイン科 視覚デザイン専攻2年 渡邊 里菜 清水 真帆
美術科 油画専攻2年 大田 香 千川 岳志 濱出 ひかり 早川 桜
早見 紗也佳 福井 伶奈 米田 雅

Process

- 2013年5月17日 美大にてオリエンテーション
- ↓
- 10月26日 館内装飾及び館内展示事前準備及び搬入
- ↓
- 10月27日 ワークショップ開催



①館内装飾(美術科油画専攻)

- ・目的: アート及び図書館を身近に感じてもらうこと
- ・内容: 館内ガラス面をカットニングシートで装飾する「ガラスアート」制作及びワークショップ開催
- ・場所: 交流ホール、児童図書コーナー



②館内展示(デザイン科及び社会連携運営会議)

- ・目的: 美大の「つくる」活動の周知
- ・内容: 社会連携事業等について、パネル及び商品サンプルにて紹介
- ・場所: 交流ホール、ギャラリー



③ワークショップ(デザイン科視覚デザイン専攻、環境デザイン専攻)

- ・目的: 読書への探究心、ものづくりの楽しさを同時に学び、読書活動を啓発すること。
また、利用者自らがワークショップに参加することで「つくる」気持ちを育成すること。
- ・内容: 「くるりんぱ」ワークショップ、「1枚から作る」ワークショップ
- ・場所: 集会室、グループ活動室





Process

- 2013年5月8日 北國新聞社担当者と打ち合わせ
- ↓
- 5月~6月 アイデア検討
- ↓
- 7月4日 かなざわピンクリボン実行委員会にプレゼンテーション
- ↓
- 8月~9月 製造関連会社とデータ調整
- ↓
- 9月29日 メッセージウォーク2013にてお披露目



Tシャツ前



Tシャツ背中

研究テーマ

かなざわピンクリボンプロジェクト

目的・概要

かなざわピンクリボンプロジェクト「受けよう乳がん検診 守ろうあなたの未来」のメッセージウォーク2013のイベントに向けて、シンボルマークを使ったTシャツ、クリアファイル、正面ゲート等のデザインを若い視点からのアイデアで提案を求められた。当日600人以上の参加者が制作したTシャツを着てウォーキングすることを想定し、参加者が横に並ぶとピンクのリボンが連続するデザインを提案し、当日のウォーキングでも参加者が率先して横に並ぶなど好評を得た。

委託者

かなざわピンクリボンプロジェクト実行委員会 北國新聞社

期間

2013年5月~2013年9月30日

担当教員

デザイン科 視覚デザイン専攻 寺井 剛敏 教授

参加学生

デザイン科 視覚デザイン専攻4年 加藤 早希 田中 翔 山田 詩音



かなざわピンクリボン実行委員会にプレゼンテーション



メッセージウォーク2013にてお披露目



Process

- 2013年4月 全体説明会、会場視察会
- ↓
- 5月~6月 学内調整
- ↓
- 7月~8月 展示内容および展示方法の決定
- ↓
- 8月7日 展示会場準備



全体説明会



会場視察会

研究テーマ

かなざわ燈涼会2013／浅野川工芸回廊

目的・概要

3回目の参加となる今回は、場所を東茶屋街に移動しての展示となった。事前に展示を引受けていただく店舗(町家)との協議や展示計画を協議することにより会場となる町家空間を有効に活用することが出来た。また参加した学生においては、地域で活躍している作家やクリエイターおよび運営側の関係者との接点となった。

委託者

社団法人金沢青年会議所

期間

2013年8月8日~11日

担当教員

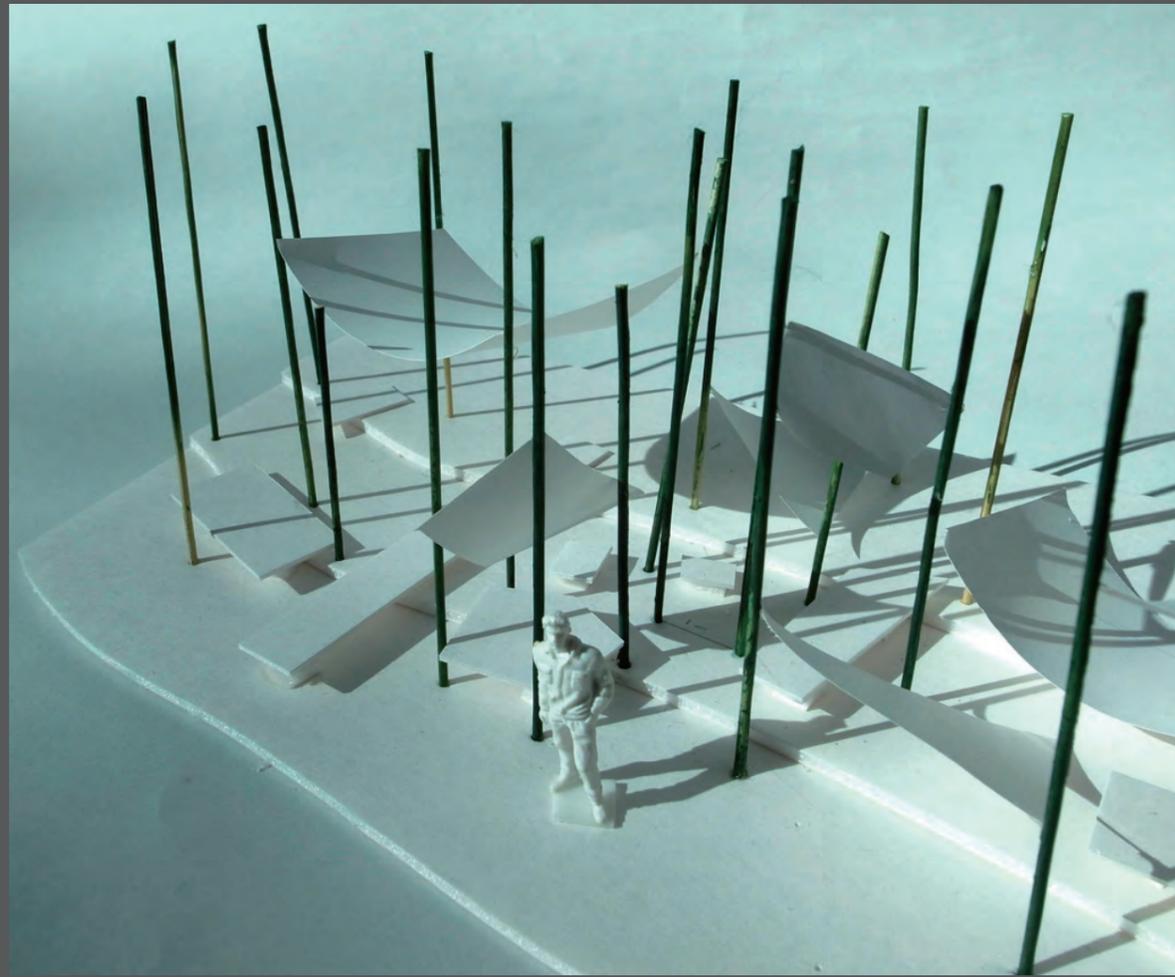
工芸科 板橋 廣美
デザイン科環境デザイン専攻 角谷 修 教授

参加学生

工芸専攻 博士3年 佐合 道子 岡 知代
 博士2年 陽 立山
 博士1年 太田 翔平
 修士2年 片石 憂衣 黄 照津 田垣 芳憲 西山 雅子 橋本 知成
 長谷川 悠希 平田 優香 弘田 朋美 古田 航也
 修士1年 小畑 真美 川端 正美 北井 真衣 木谷 洋 柴田 夏来 城川 沙織
 鈴木 明里 豊海 健太 中田 利枝 松村 慶子 三輪 紗千 山森 菜々恵



東茶屋街「桃組+青組」の展示風景



研究テーマ

能登島 "ガラスの丘" プロジェクト 2013

～ 風とガラスのプロムナード ～

目的・概要

能登島ガラス美術館での夏期のアートプロジェクトにおいて、ガラス風鈴と竹を用いた遊歩道のデザインを行った。庭園内に日陰のある集いの場の仕掛けとして設置場所を三カ所に設定し、竹を植え、風鈴を設置。遊歩道を通ると風鈴の音が鳴り響き、夏を感じられる。休憩スペースとして既存のベンチによしずを使った屋根をかけた。丘の下からの視認が必要だったため竹の位置や高さも考慮した。

委託者

能登島ガラス美術館

期間

2013年5月15日～平成26年3月31日

担当教員

デザイン科 環境デザイン専攻 坂本 英之 教授

参加学生

デザイン科 環境デザイン専攻2年 田中 明香音 成子 夏芽 辨野 翔太郎

Process

- 2013年5月17日 現地視察及び打合せ
- ↓
- 5月21日～6月12日 学内打合せ&アイデア展開
- ↓
- 6月22日 プレゼンテーション
- ↓
- 7月8日 現場施工立
- ↓
- 7月12日 オープニング



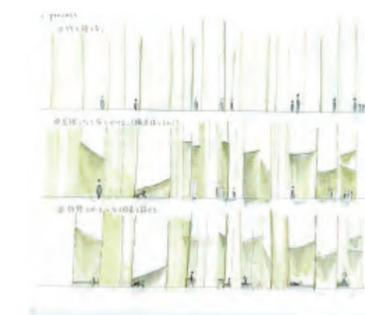
デザイン案の検討



デザイン案ラフスケッチ



風のぬける鈴の影



敷地に600mm感覚で竹を植えて行く。これは人が通れる扉の最小のサイズであり、部屋に入っていく感覚に近い。影の大きさや強さが変わっていくように、適当に高さを変えながら屋根(布)をかけていく。屋根の高さは0～3000mmまで設定し、勾配も与えながら子どものスケールにも合わせながら作る。それらは照りつける日差しをよけながら鈴が響く影になる。

キラキラ硝子のテント



竹で骨組みを作り、四角形の硝子を巻き付けるように吊るして行く。その硝子のあいだに風鈴も吊るしていき、遠くから見たとき全体がキラキラと光ると同時に風鈴の音も聞こえてくる。中に入ると太陽の光が透けて、光に包まれる空間となる。

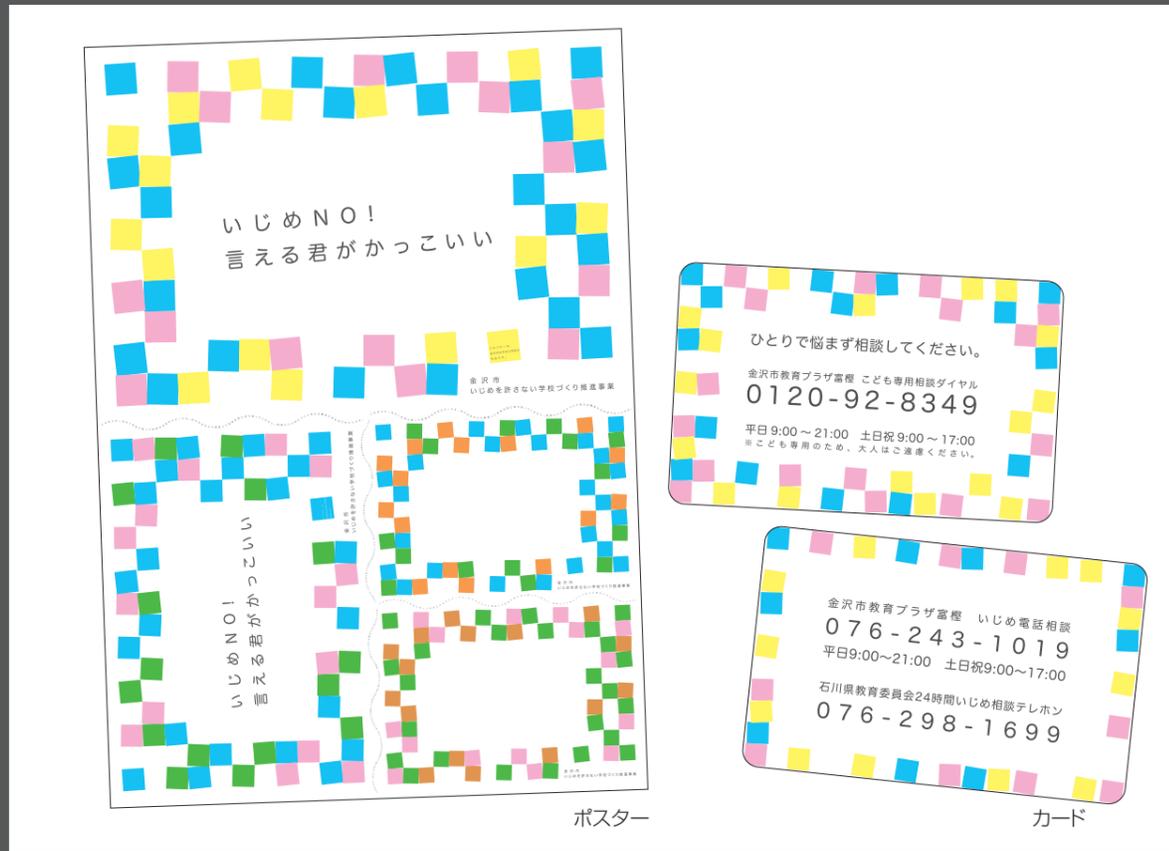
風のトンネル



海風の吹き抜ける丘の上に建つ美術館。そんな気持ちのいい海風を感じられながらも、照りつける太陽の光を程よく和らげ木陰を作る。また、そこに吊るされたいくつもの風鈴が穏やかな海風に揺られて響き渡り、訪れた人々の心を癒してくれる。入り口が低いのは狭いところから突然広いところへと抜けたとき、ひとは「あ」という感動を得られるから。そのときの感動はきっと忘れられることなく、2013年の夏の思い出として永遠に残るだろう。

Process

- 2013年7月1日 金沢市教育委員会と打ち合わせ
- ↓
- 7月~8月 アイデア検討
- ↓
- 8月初旬 印刷データ入稿
- ↓
- 9月5日 記者発表、市内全小中学校へ配布



ポスター

カード



プレゼンテーション



研究テーマ

いじめ防止ポスター制作

目的・概要

いじめを許さない学校づくり推進事業として、児童生徒から、いじめ撲滅に関するキャッチコピーを募集し、児童生徒の「いじめは人間として絶対に許されない」という意識を高めるために、採用されたキャッチコピー「いじめNO! 言える君が かっこいい」を活用したポスター及びいじめ等に関する相談連絡先を掲載したカードを作成依頼された。大学としても学生の視点で考えたアイデアで、いじめ防止の未然防止・早期発見につなげ、いじめを許さない学校づくりの支援ができればと協力することになった。

今回のポスターの特徴

コピーを引き立たせるため、あえて抽象的な四角形のモチーフを用いた。子供達が、好きな形に切ったり、自分たちが考えた言葉を書き込める参加型のポスターとし、あえて不揃いにしたガイドラインは、デザイン担当者のメッセージ分を記載した。

委託者

金沢市教育委員会

期間

2013年7月~2013年9月30日

担当教員

デザイン科 視覚デザイン専攻 寺井 剛敏 教授

参加学生

デザイン科 視覚デザイン専攻4年 畑尾 佐助



発表会



掲出例



石川県立音楽堂での展示風景

研究テーマ

ホスピタリティラウンジ・プロジェクト 待ち時間を豊かにする椅子III
「石川県立音楽堂と新幹線ホームをつなぐ椅子」

目的・概要

石川県立音楽堂と金沢美術工芸大学が連携し、音楽堂での待ち時間を少しでも快適に過ごせないかと考え、コンサートに来た人や新幹線開業に向けて待合スペースを想定して利用者にアンケート調査を行い、職員の方にアドバイスを頂きながら、「待ち時間を豊かにする椅子」をテーマに学生自らが椅子をデザインし制作した。これらの椅子は、くつろぎや癒しを通して待ち時間を楽しむことができ、機能性だけでなく、音楽が与えるイメージや形、色、サイズの工夫によっても利用者に演奏会が始まる前の緊張感を和らげたり、演奏会後の感動を分かち合える豊かな待ち時間を与えてくれる。金沢美術工芸大学では、金沢市立病院と連携して過去2年間、医療分野におけるアートの可能性について調査研究するホスピタリティアート・プロジェクト(Hospitality Art Project)に取り組んできた。今回は、そこで得たノウハウと音楽性を融合して展開していった。その結果、医療分野で得たノウハウと音楽性が融合した美しい造形で座り心地の良い椅子が多くの誕生した。また、展示では、オリジナリティー溢れる椅子のプロトタイプ22脚を音楽堂2階カフェ・コンチェルトに列べ、学生によるプレゼンテーションと講評会を行った。展示期間中、人気投票やアンケートも実施した。この内容を金沢市立病院にも展示し、フィードバックすることで新たな発見があり「Hospitality Chairs」の質を上げることができた。また、銀行の待合椅子としても展示を依頼され、この取り組みに共感してもらうことができた。このプロジェクトを通して、予想される結果として考えていた病院だけでなく、様々な公共空間での「待ち時間」を必要とする環境への応用展開が可能であることへの手応えをつかんだ。

委託者

石川県立音楽堂

期間

2013年6月～2014年2月

担当教員

デザイン科 製品デザイン専攻 根来 貴成 准教授

参加学生

デザイン科 製品デザイン専攻3年生(22名)
荒崎 紅音 今村 俊太 江口 広子 大上 渉 金子 翔哉 狩野 梓 川口 真那子
小久保 延哉 高橋 瑞紀 土田 純平 西澤 実 橋場 雄伍 藤本 雅司 別所 潮
松井 つぐみ 水口 正夫 村田 駿 山田 かおり 山本 憲吾 横山 舞
吉崎 なな美 薄上 紘太郎

Process

- 2013年6月11日 石川県立音楽堂視察調査
- ↓
- 6月13日 石川県立音楽堂コンサート視察、アンケート調査
- ↓
- 6月20日 石川県立音楽堂関係者中間報告
- ↓
- 9月27日～10月10日 Hospitality Chairs
「待ち時間を豊かにする椅子展」
～石川県立音楽堂と新幹線ホームをつなぐ椅子～(石川県立音楽堂)
- ↓
- 10月21日 金沢ケーブルテレビ「まちスタ530」生出演
(インタビュー、教員、学生4名)
- ↓
- 10月27日～31日 Hospitality Chairs
「待ち時間を豊かにする椅子」特別企画展
～石川県立音楽堂と新幹線ホームをつなぐ椅子～(金沢市立病院)
- ↓
- 11月2日～4日 Hospitality Chairs
「待ち時間を豊かにする椅子展」
～石川県立音楽堂と新幹線ホームをつなぐ椅子～(金沢美術工芸大学)
- ↓
- 11月19日～24日 第40回石川県デザイン展
学生部門で応募した椅子が金賞を受賞(しいのき迎賓館)
- ↓
- 11月28日～12月8日 金沢美術工芸大学教員研究発表展2013
Hospitality Chairs
「待ち時間を豊かにする椅子」研究発表(金沢21世紀美術館)
- ↓
- 2014年2月3日～14日 Hospitality Chairs
「待ち時間を豊かにする椅子」特別企画展
～銀行の待合ロビーを豊かにする椅子～(北國銀行金沢市役所支店)



石川県立音楽堂視察調査



コンサート視察、アンケート調査



アイデア展開



石川県立音楽堂関係者中間報告



制作風景



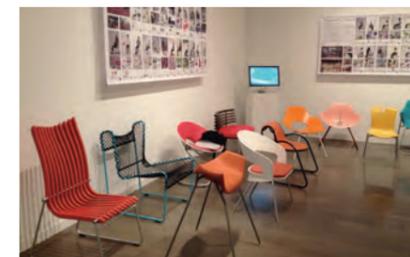
石川県立音楽堂での公開プレゼンテーション風景



石川県立音楽堂での展示風景



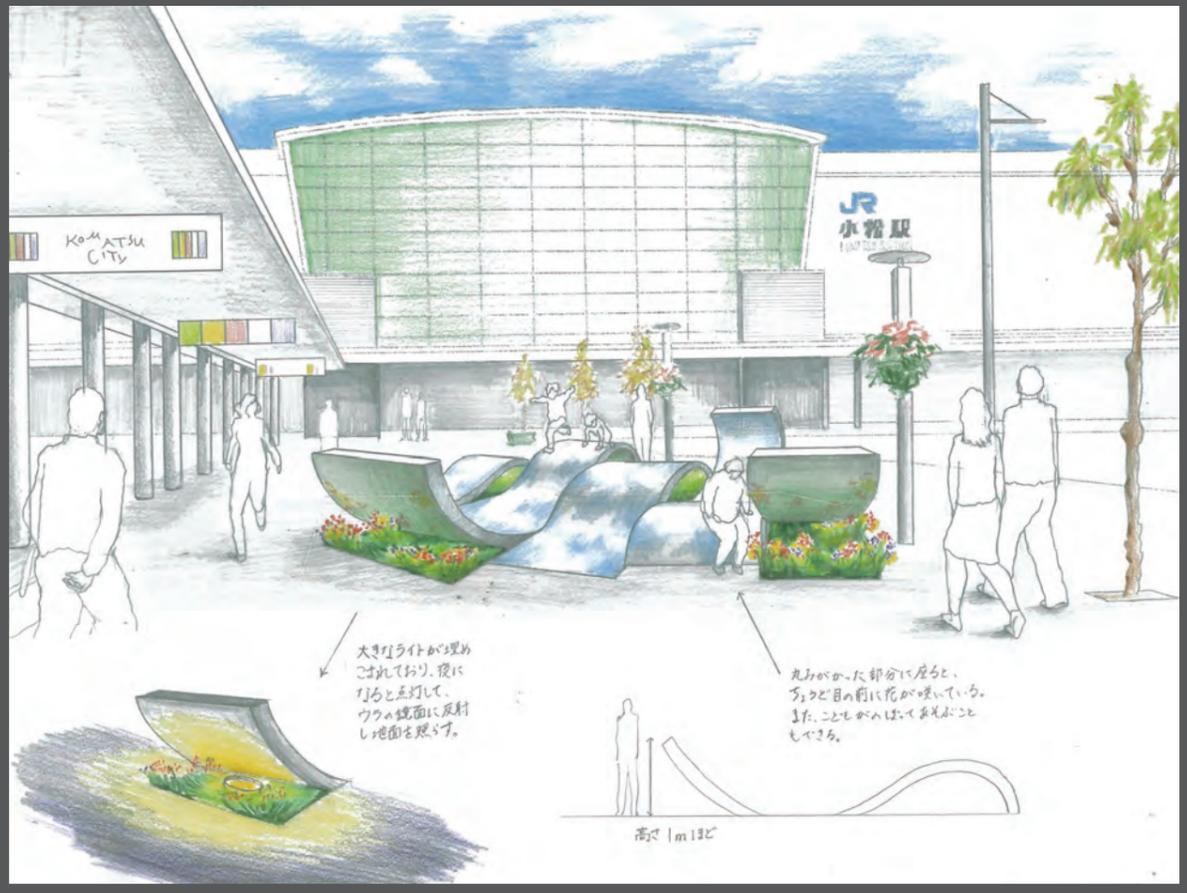
金沢市立病院での展示風景



金沢21世紀美術館での展示風景



金賞を受賞した椅子



研究テーマ 小松駅前シンボルアートコンペ

目的・概要 小松駅前再開発と周辺まちなみの整備に伴い、商店街の活性化と共に駅前の賑わいを目的に小松市役所より学生のアイデア提案を依頼される。現地調査や本学の地域連携事業としての位置づけ、および学生の教育的な側面を協議して「シンボルアートコンペ」としてアイデアを募集した。今後は、選出されたデザイン案を元に小松市の要望や安全性、景観等に配慮して実施案を進めていく。

委託者 小松市

期間 2013年6月8日～2014年3月

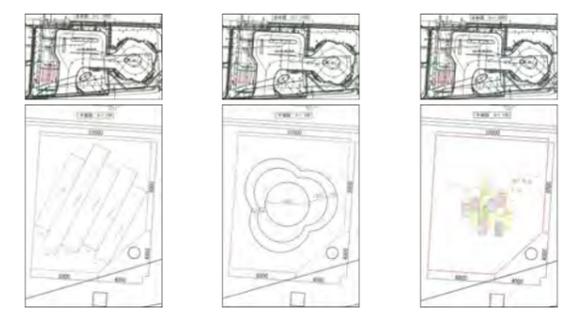
担当教員 デザイン科 環境デザイン専攻 角谷 修 教授

参加学生 コンペ参加学生14名
 大賞受賞者 デザイン科 環境デザイン専攻1年 川上 すみれ
 優秀賞受賞者 デザイン科 環境デザイン専攻2年 田中 理実
 優秀賞受賞者 デザイン科 環境デザイン専攻1年 早川 真央

Process

- 2013年6月 現地視察と意見交換
- 7月～9月 実施方法協議
- 10月～11月 コンペ案提出、学生の現地視察
- 12月 コンペ案審査

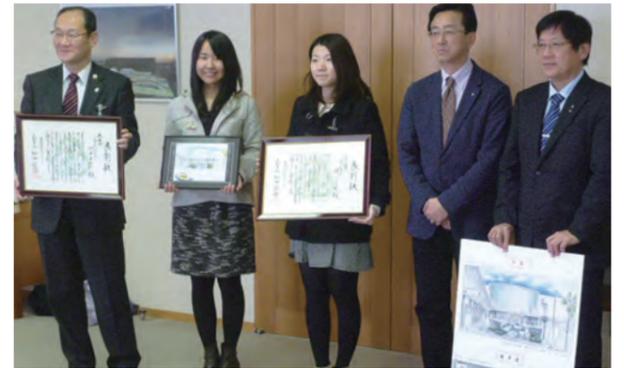
2014年1月～3月 決定デザイン案の設計協議



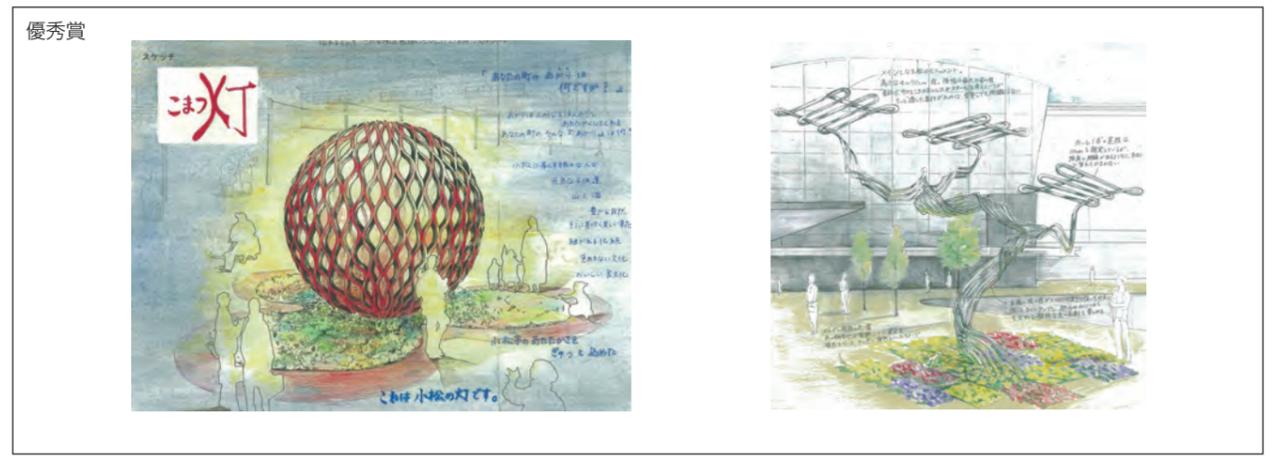
学生の現地視察



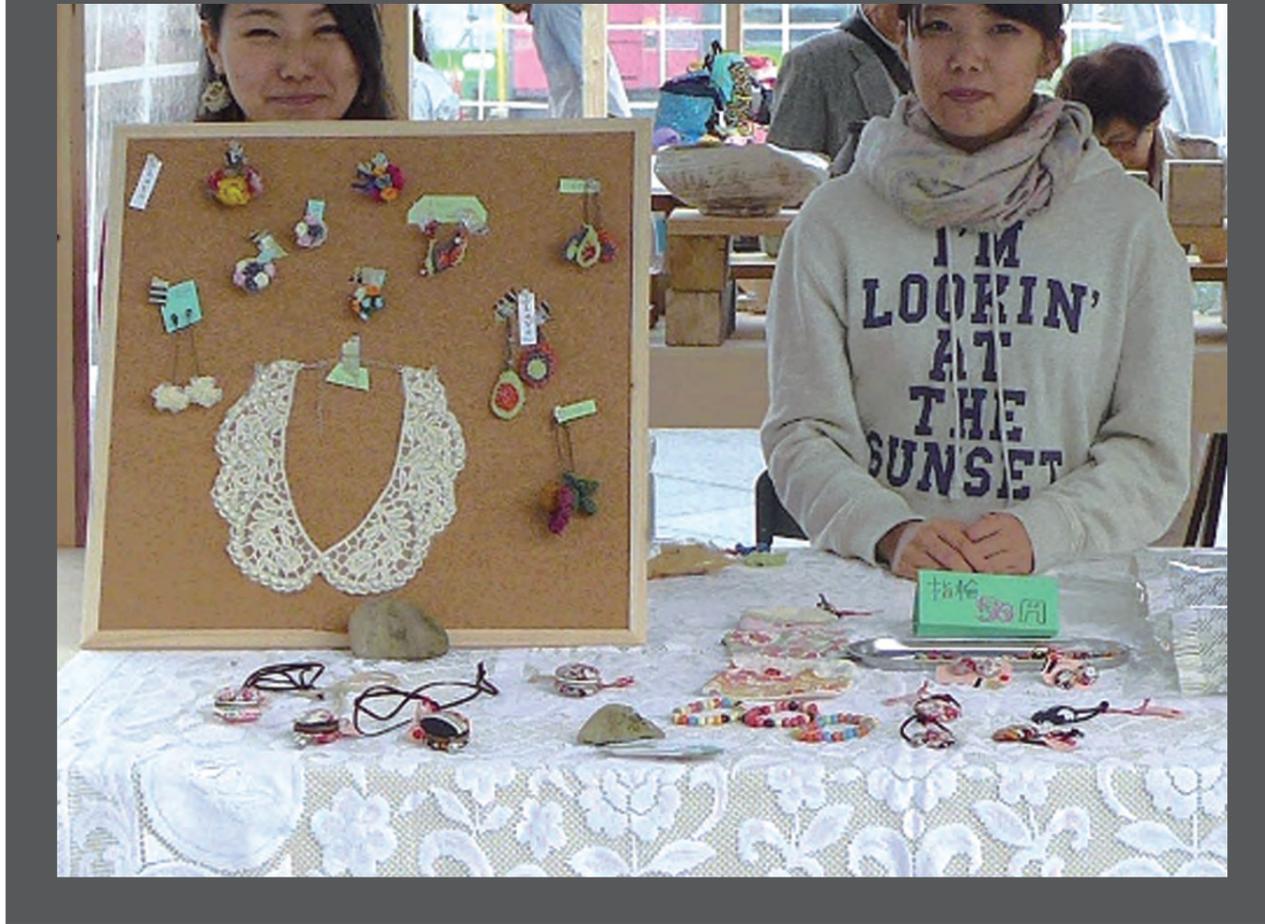
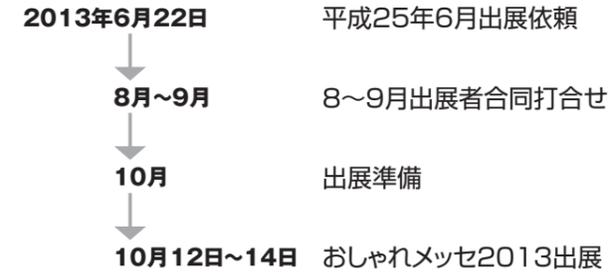
コンペ審査会



コンペ大賞授賞式



Process



出展風景

研究テーマ

かなざわクラフトマルシェ出展計画

目的・概要

おしゃれメッセ2013開催の一環として開催される3日間限定の県内外のクリエイターや専門学生によるクラフト作品の展示販売に協力した。参加する学生のオリジナリティーを前面に出せるような人選を実施して、出展者の合同打合せに備えた。また出展期間中の展示内容や状況を把握するよう務めた。

委託者

おしゃれメッセ実行委員会

期間

2013年10月12日~14日

担当教員

工芸科 板橋廣美
デザイン科 環境デザイン専攻 角谷 修 教授

参加学生

工芸専攻 博士 佐合 道子
修士2年 片石 憂衣 西山 雅子 弘田 朋実 古田 航也 平田 優香
修士1年 北井 真衣 三輪 紗千 橋本 知成
学部4年 斎藤 一 岩佐 悠子
学部2年 金丸 萌 佐藤 文 鈴田 清人 山下 彩



研究テーマ **ホスピタリティアート・プロジェクト 第14回
光の回廊シリーズ(その5)「夏の想い」**

目的・概要 今年度の金沢市立病院でのワークショップ・展示は、「～光の回廊シリーズ～ その5 夏の想い」と題し実施された。市立病院と美大との連携により、医療分野におけるアートの潜在的な可能性を探求する事を目的とした「ホスピタリティアート・プロジェクト」第1回企画として、病院1階待合ホール大ガラスにステンドグラス風の装飾を施されたこのワークショップ・展示作業は、今回で5年目を迎えた。患者、医療者、学生の協働によるこの企画は、病院の恒例行事のように関係者および地域社会に受け入れられている。図案会議に始まり、大学での下準備、ワークショップ、展示、撤収に至るまでを例年通り無事に終えることができた。成功裏に終えることができた要因は、これまでの美大と市立病院との連携もさることながら、協力学生の献身的な尽力に依るところが大きい。ボランティアとして労を惜みず作業に携わる彼等の姿を見て、この活動を美大の美術教育に具体的に還元させる必要を感じている。

委託者 **金沢市立病院**

期間 病院内制作・展示 2013年9月2日(月)～19日(木)
ワークショップ 2013年9月2日(月)、3日(火)

担当教員 **美術科油画専攻 三浦 賢治 准教授**

参加学生
油画専攻1年 大出 久美子 大野 三結 谷本 梢 中島 大河
永井 ちなみ 野木 麻美
油画専攻2年 山本 武明
油画専攻3年 大田 香 小林 大地 濱出 ひかり 早川 桜 福井 伶奈
山本 翔平 米田 貫雅
修士課程絵画専攻油画コース1年 島 小織 野一 色彩

Process

- 2013年5月31日 第1回企画会議
- ↓
- 6月24日 テーマ会議
- ↓
- 7月31日 図案会議
- ↓
- 8月中旬 材料確認、発注
- ↓
- 8月27日 最終図案決定
- ↓
- 8月下旬 市の広報にお知らせ(市立病院発信)
- ↓
- 8月30日 脚立、足場、コンパネ等の資材を病院に搬入
- ↓
- 8月29日・30日 美大でワークショップ材料・パーツの下準備
- ↓
- 9月1日 ガラスシート張り替え、
カラーセロファンによる大ガラスの装飾開始
- ↓
- 9月2日 ステンドグラス制作 10:00am～6:00pm
ワークショップ 1:00pm～4:00pm(主にこの日に行う)
- ↓
- 9月3日 ステンドグラス制作 10:00am～12:00am
ワークショップ 1:00pm～4:00pm(希望者がいた場合)
- ↓
- 9月19日 撤収 3:00pm～(セロファン剥がし、資材搬出)



企画会議



美大でワークショップ材料・パーツの下準備



ステンドグラス制作



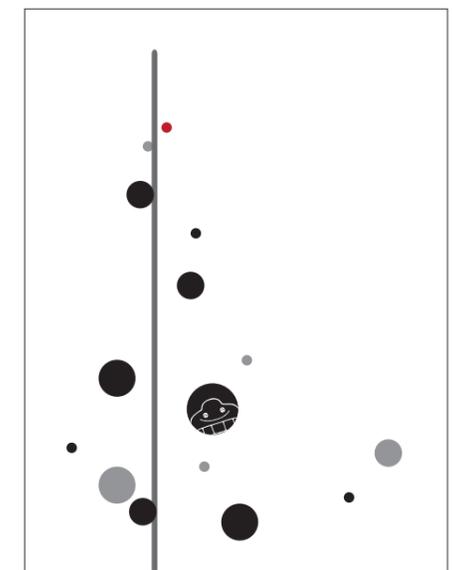
光の回廊



ワークショップ

Process

- 2013年10月22日 オリエンテーション
- ↓
- 11月22日 ラフ案のプレゼンテーション
- ↓
- 11月27日 最終案のプレゼンテーション
- ↓
- 12月11日 デザインの精査を経てデータ入校
- ↓
- 2014年2月13日 設置完了



フラッグ最終案



研究テーマ 石引商店街バナーフラッグデザイン

目的・概要 2006年に本学デザイン科学生を中心に制作した現行のバナーフラッグの経年劣化と、支持体の老朽化に伴い、石引商店街振興会から再度依頼を受け、明るく現代的なバナーフラッグのリニューアルを行った。

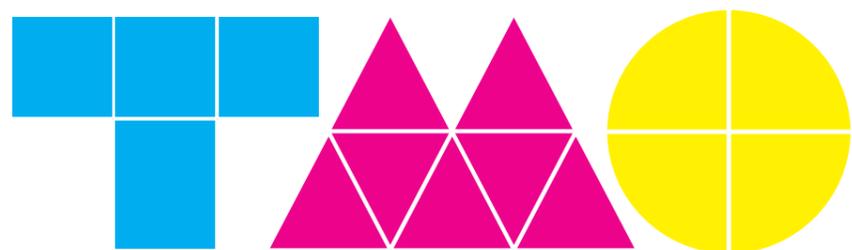
委託者 石引商店街振興会

期間 2013年10月22日(火)～2014年2月13日(木)

担当教員 デザイン科 環境デザイン専攻 角谷 修 教授
デザイン科 視覚デザイン専攻 鈴木 康雄 准教授

参加学生 デザイン科 視覚デザイン学部2年 佃 優衣子 渡辺 光

KANAZAWA



KANAZAWA TOWN MANAGEMENT ORGANIZATION

KANAZAWA



研究テーマ

株式会社金沢商業活性化センター VI制作

目的・概要

金沢市の外郭団体としてまちづくりへの支援や中心市街地の商店街との連携を担ってきたが、現在は、株式会社としてこれまでの活動を引継ぐと共に独自の運用を展開してまちの活性化を企画運営している。その社会的な使命をより明確にする目的でVI計画を企画して、活動の推進を後押しする提案をした。具体的には、ロゴマークやそのアプリケーションの展開をこれまでの活動方針に基づき協議を重ねて整理した。

委託者

株式会社金沢商業活性化センター 代表取締役 篠田 健

期間

平成25年8月～平成26年3月

担当教員

金沢美術工芸大学環境デザイン専攻 教授 角谷 修
共同研究者 橋本 謙次郎 (デザケン/有限会社橋本謙次郎デザイン制作室)

Process

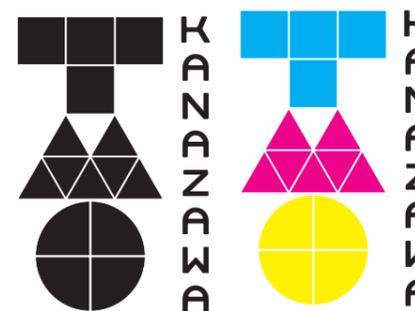
- 2013.8月 平成25年8月事業方針の確認と協議
- ↓
- 2013.9月 9月社内取材と意見交換
- ↓
- 10月頭 10月VI計画の提案、協議
- ↓
- 11～12月 11～12月提案の調整と意匠登録
- ↓
- 2014.11～12月 平成26年1～3月VIの活用実施



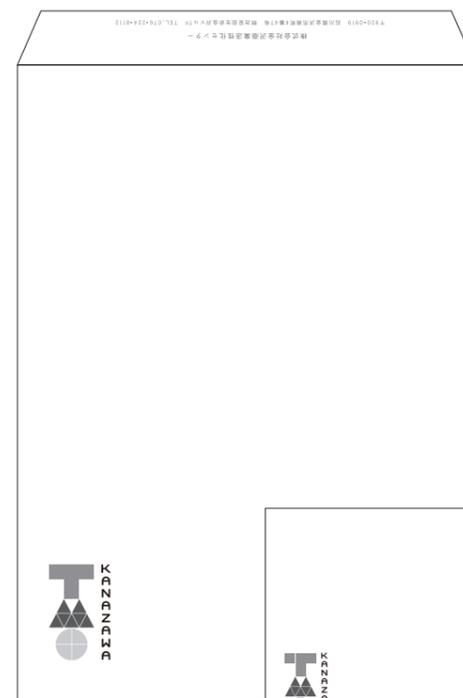
事業方針の確認と協議



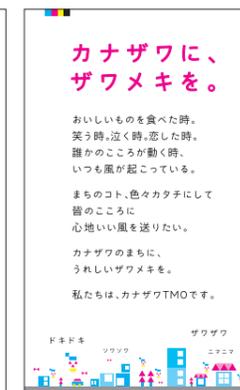
VI計画の提案と協議



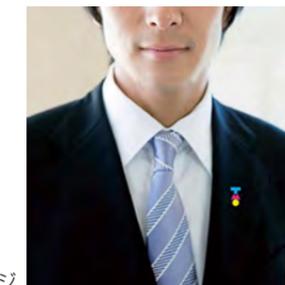
ロゴマーク



封筒



名刺



バッジ



研究テーマ

北陸銀行ウィンドウ活用計画2013

(小立野、中央、問屋町各支店)

目的・概要

北陸銀行と本学にて協定を結び、その一環として小立野支店をはじめ中央支店、問屋町支店の3カ所のウィンドウ及び店内を活用した作品展示やディスプレイデザインを計画した。それぞれの支店の環境を意識した提案として今後も活用計画を継続していく。

委託者

株式会社 北陸銀行

期間

2013年4月～2014年3月

担当教員

彫刻科 石田 陽介 教授
工芸科 板橋 廣美 教授

参加学生

彫刻専攻 学部3年	小森 正則
大学院1年	遠藤 惇也
工芸専攻 陶磁 博士3年	佐合 道子
陶磁 修士2年	橋本 知成
陶磁 学部3年	田中 陽子
陶磁 修士1年	北井 真衣

Process

2013年4月23日～7月17日

小森正則 「kara」(乾湿)左 「river」(金属)右

7月19日～10月21日

遠藤惇也「eternal effect」(レジンキャスト、テーブル、梯子)

10月23日～12月2日

佐合道子 「原生の発露・shower」

12月2日～12月24日

橋本知成 「生命の領分」

12月26日～2014年2月11日

田中陽子 「空のかけら」

2014年2月12日～3月31日

北井真衣 「おはなとおにく」



小森正則



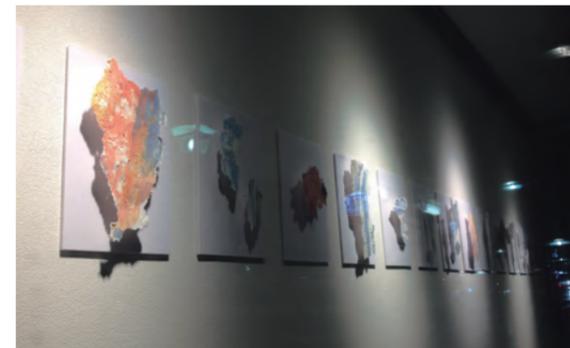
遠藤惇也



佐合道子



橋本知成



田中陽子



北井真衣



研究テーマ

かなざわエコフェスタ2013出展事業

目的・概要

地球温暖化防止対策や廃棄物削減等を啓発するイベント「かなざわエコフェスタ2013」における「エコアート展」に金沢美大 視覚デザイン1年生が制作したダンボール作品を金沢駅地下もてなしドームで展示した。また子供達にワークショップとしてダンボールのお面を制作し、後藤教授と視覚デザイン1年生の勇士でバンド演奏も披露した。

委託者

金沢市

期間

平成25年8月1日から平成26年3月31日

担当教員

金沢美術工芸大学デザイン科 視覚デザイン専攻 教授 後藤 徹
教授 工藤 俊之

参加学生

デザイン科 視覚デザイン専攻1年
大津 裕貴 岡村 早矢花 荻田 瑞絵 熊木 良太 吳藤 結咲 坂本 裕太
佐藤 凌介 篠田 彩音 高原 龍彦 田中 裕梨 辻 ひとみ 杼元 淳
日比野 真愛 松浦 朱里 松田 菜生子 水野 早希 山田 明子
山戸 蒔 横山 茜 吉本 穂花 渡辺 雅夫

Process

- 2013.4月 オリエンテーション
(金沢市環境局環境政策課)
- ↓
- 6月 「かなざわエコフェスタ2013」
プロポーザル審査
- ↓
- 7月 VD1年ダンボール立体課題制作&
プレゼンテーション
- ↓
- 9月 小学生環境3Rポスター審査会
(西部環境エネルギーセンター)
- ↓
- 10月 「かなざわエコフェスタ2013」開催
(金沢駅もてなしドーム)



会場風景



展示風景



展示風景



バンド演奏



ワークショップ



研究テーマ

和紙の恐竜クラフト

目的・概要

福井県庁から地元越前和紙を使ったペーパークラフトの提案を国内の芸術大学4校(参加大学は東京芸術大学、京都芸術大学、大阪芸術大学、金沢美術工芸大学)で行いたいと依頼があった。福井県が日本国内における有数の恐竜化石山地であるため、モチーフには恐竜を使って提案をすることを条件とされ、提案された作品から商品化を検討する可能性も示唆された。制作にあたっての条件として、

- ①商品として魅力的なもの(未発表作品に限る)
- ②キットで販売する
- ③立体、半立体、平面は問わない
- ④与えられた和紙素材以外は使用しない

これらの条件を踏まえて、学内から選抜された6名で提案をおこなった。視覚デザイン、環境デザイン異なる専攻の学生でアイデアの検討から制作まで、違った視点からの意見交換、制作ノウハウなどを共有しながら提案できたことは参加した学生にとっても意義があり、結果として、最優秀賞、優秀賞、恐竜博物館長賞の3賞を受賞することができたのは収穫だった。

※東京芸術大学は参加を辞退

委託者

福井県庁地域産業・技術振興課

期間

2013年12月～2014年3月31日

担当教員

デザイン科 視覚デザイン専攻 寺井 剛敏 教授
デザイン科 環境デザイン専攻 畝野 裕司 准教授

参加学生

デザイン科 視覚デザイン専攻2年 松村 怜実 渡辺 光 養父 凜
デザイン科 環境デザイン専攻2年 三條場 未紗 田中 理実 渡邊 里菜

Process

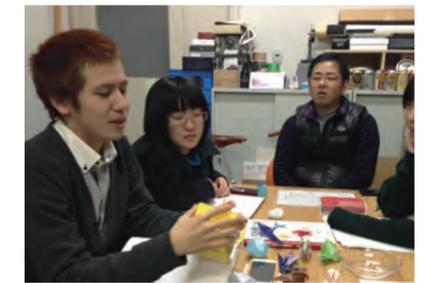
- 2013年11月5日 福井県庁担当者との打ち合わせ
- ↓
- 12月10日 学生に対するオリエンテーション
- ↓
- 2014年1月9日 デザイン案検討
- ↓
- 1月中旬～2月中旬 デザイン案検討及び進捗確認
- ↓
- 2月24日 作品搬入及び公開審査に向けて調整
NHK取材
- ↓
- 3月16日 最終プレゼンテーション及び公開審査



グランプリ作品

中間ミーティング

違った視点からの意見、制作方法についての共有などお互い学ぶことが多い場となった。



最終プレゼンテーション

審査委員、一般来館者の前で、視覚デザイン、環境デザインから代表者1名が説明を行った。



発表会



最終選考案



研究テーマ 珠洲市公用車(EV車)のラッピングデザイン

目的・概要 珠洲市は人と自然の共生が何世紀もの昔から続く町で、世界農業遺産2011能登地域として認定されている。そういった珠洲市の自然共生に向けた取り組みなどを、地域の人、市職員等の意識を高めるためのアピールとして、新しく購入したEV公用車にラッピングデザインをほどこす。

委託者 珠洲市自然共生室

期間 2013年12月~2014年3月

担当教員 デザイン科 製品デザイン専攻 浅野 隆 教授

参加学生 デザイン科 製品デザイン専攻2年 今村 美月 尾方 祐美 岸 春伽
西口 眞由 船本 真希 村井 菜月

Process

- 2013年12月24日 オリエンテーション(金沢美大にて) 珠洲市よりテーマの概要説明を受ける。
- 2014年1月 コンセプト、アイデアミーティング
- 2月 最終報告会(イラストレータデータにて提出)
- 3月 選考された1案のブラッシュアップ (実際の車へのマッチング検討)
- 4月4日 ラッピング公用車(EV実車)公開 会場: 珠洲市庁舎前駐車場



オリエンテーション



最終報告会



アイデアミーティング



提案したアイデアスケッチ17案

